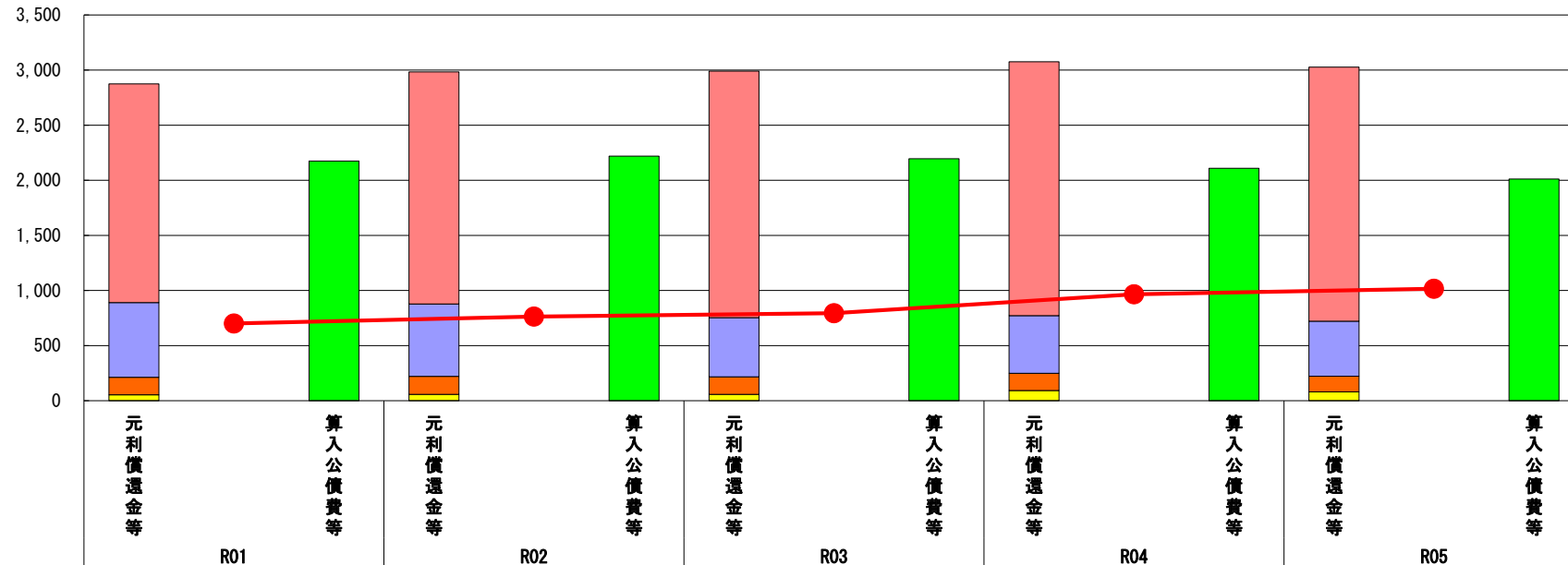


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

岡山県笠岡市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,985	2,106	2,237	2,303	2,305
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		677	656	537	523	500
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		160	163	159	156	142
	債務負担行為に基づく支出額		53	58	57	93	80
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,174	2,219	2,196	2,109	2,011
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		701	764	794	966	1,016

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

分析欄

一般会計等における元利償還金は前年度ど
 ほぼ同額であるが、算入公債費等が減となっ
 ているため、比率の分子は上昇した。
 公営企業債の元利償還金に対する繰入金
 は、下水道事業において企業債の償還が進ん
 でいることもあり、減少した。
 近年、防災・減災事業や自然災害防止事
 業、最終処分場建設事業等の大規模なハード
 事業が続いたことに加え、今後も一部事務組
 合の焼却場建設への負担金や大規模ハード事
 業が予定されていることから、引き続き借入
 の抑制等の財政健全化の取組を継続する必要
 がある。

（参考）

（百万円）

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金 積立状況等（注）	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

（注）減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄